

氏名	中村裕美	部署	保健医療福祉学部作業療法学科・大学院保健医療福祉学研究科 兼任	職名	教授
研究分野	作業療法理論, 高齢期作業療法学, 地域作業療法学				
学位	博士				
学歴	最終学歴 公立大学法人首都大学東京 大学院 博士後期課程 人間健康科学研究科 人間健康科学専攻 作業療法科学域 修了				
経歴	2017年4月より現職				
所属学会(役職)	British Journal of Occupational Therapy (Editorial Board member) Royal College of Occupational Therapists (英国OT協会年次学術集会演題採択委員) World Federation of Occupational Therapists (学術集会演題採択委員) University of Illinois at Chicago, The Model of Human Occupation, Clearinghouse(リサーチフェロー) Queen Margret University (リサーチフェロー) 日本作業療法士協会(学術誌査読委員, 年次学術集会演題採択委員) 日本作業行動学会(評議委員) 臨床作業療法学会(学術誌査読委員) 日本公衆衛生学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Development, psychometrics and feasibility of the School Participation Questionnaire: A teacher measure of participation related constructs	共著	あり	○	Research in Developmental Disabilities	Maciver D, Tyagi V, Kramer JM, Richmond J, Todorova L, Romero-Ayuso D, Nakamura-Thomas H, van Hartingsveldt M, Johnston L, O'Hare A, Forsyth K	2020. 11
2	日本語版 ASCOT による要介護高齢者の社会的ケア関連 QOL の測定と関連要因	共著	あり		保健医療科学 69(5) 460-470	森山葉子, 森川美絵, 中村裕美, 白岩健, 田宮菜奈子, 高橋秀人	2020. 12
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	Development of the Japanese-version of the comprehensive carer assessment model focusing on well-being and quality of life of carers	共同		Joint World Conference on Social Work Education and Social Development, Rimini, Italy	○Yamaguchi M, Hirose I, Ohara M, Matsuzawa A, Nakamura-Thomas H, Horikoshi E	2020.11	
2	要介護家族を介護する家族介護者の社会的ケア関連QOL尺度日本語版の信頼性・妥当性検証			第54回日本作業療法学会, 新潟市	○中村裕美, 山口麻衣, 山口生史, 松澤明美, 小原 真知子	2020.9	
(4) その他							
	名称	単・共		発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)			社会的ケアを要する高齢者の在宅生活維持に資するQOL規定因子の実証的解明	研究代表者	2020.4~2024.3	
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B)			地域包括ケアのアウトカムとしてのケア関連QOLの測定と応用に関する研究	研究分担者	2020.4~2024.3	

3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	軽度認知障害から正常状態への回復を促進する包括的な役割・環境支援プログラムの開発	研究分担者	2018.4～2022.3
4	National Research Foundation of Korea (NRF)	Developing and Comparing a Cross-National Disability Measure for Older Adult Populations across Korea, China and Japan	研究分担者	2021.1～2023.12
3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	高齢期作業療法学特論	○	7	履修学生の要望に従ってコンテンツを作成し 学術誌から教材を選出した
2	保健医療福祉学際英語（大学院博士前期課程）	○	12	模擬国際学会として豪州の臨床家を登用して院生の発表練習の機会を設けた
3	リハビリテーション基盤実践学特論（大学院博士前期課程）		4	COVID19の影響によりデータ取得が困難な状況に鑑み システムティックレビュー/メタアナリシスを国際指針PRISMAに基づいて概説し 共著者として刊行した論文を教材としてリスクオブバイアスの表記方法を提示した
4	IPW論（専門職連携実践論）②（大学院博士前期課程）		8	医療者の職業的葛藤とバーンアウトについて 国際学術誌に公開されている論文を教材に用い 多職種連携による効果の研究デザインに焦点化して詳細に説明した
5	行動神経作業療法学特論（大学院博士前期課程）		5	国際学術誌から質の高い論文を教材に用いて 研究デザインと解析方法に焦点化して概説した
6	心身機能作業療法論（大学院博士前期課程）		5	国際学術誌から質の高い論文を教材に用いて 研究デザインと解析方法に焦点化して概説した
7	IPWシステム開発論（専門職連携実践論）②（大学院博士後期課程）		8	医療者の職業的葛藤とバーンアウトについて 国際学術誌に公開されている論文を教材に用い 多職種連携による効果の研究デザインと論文作成に焦点化した
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨床作業療法学技能演習	○	30	時間数増加に合わせてコンテンツを増やし 臨床家の登用数も増やした
2	高齢期作業療法学演習	○	15	高齢期のクライアントの大半が認知機能障がいを呈している現状に鑑み 認知機能障がいをもつ人々への作業療法の時間を倍増させた
3	IPW演習		15	他大学の医学部学生も参加したため その学生が疎外感を感じない様ファシリテーションを行った また遠隔対応となったため 学生が時間を有効活用できるように かつ学生が主体的に取り組めるよう支援した
4	リハビリテーション学演習（行動神経作業療法学）（大学院博士前期課程）		5	国際学術誌から質の高い論文を演習の教材に用い 履修者がトレースできるようにマテリアルを構築した
5	心身機能作業療法演習（大学院博士後期課程）		5	国際学術誌から質の高い論文を演習の教材に用い 履修者がトレースできるようにマテリアルを構築した
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨地実習Ⅰ-3（地域領域）	○	2021.2.22-3.12	COVID19の影響により臨地実習組織への配属が中断となった学生に対する代替措置として 臨床家を複数登用し 学習コンテンツを作成した なお臨地実習終了後の事例検討会には 臨床家と協業して作成した事例を用い グループ毎に異なる事例を検討した

2	臨地実習Ⅱ（身体機能領域）	○	2020.6-8	COVID19の影響により臨地実習組織への配属が中断となった学生に対する代替措置として 事例検討を担当した	
(4) 論文指導					
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	博士論文	2020.4-2021.3	主指導（指導教員）	1名	副指導（指導補助教員） 1名
(5) その他					
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	-				
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月	
1	該当なし				
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期	
1	越谷市介護給付費等の支給に関する審議委員会	委員		2020.4-2021.3	
2	豊島区区民ひろば課WHO認証プロジェクト セーフコミュニティ	アドバイザー		2020.4-2021.3	
3	British Journal of Occupational Therapy	Editorial Board member		2020.4-2021.3	
4	Royal College of Occupational Therapists	英国OT協会年次学術集会演題採択委員		2020.4-2021.3	
5	日本作業療法士協会	学術誌第一査読委員		2020.4-2021.3	
6	日本作業療法士協会	年次学術集会演題採択委員		2020.4-2021.3	
7	日本作業行動学会	評議委員		2020.4-2021.3	
8	日本作業行動学会	学術誌第二査読委員		2020.4-2021.3	
9	Hong Kong Polytech University	Dr. Professor Wing-tak Wong, Deputy President and Provostに指名されたHong Kong Polytech UniversityのステークホルダーとしてのQS University Rankingsの評価委員		2021.1 - 2021.3	
10	BMC Nursing	看護学系国際学術誌の査読者役割		2021.2-3	
11	MDM Policy & Practice	社会学系国際学術誌の査読者役割		2020.11-2021.1	
12	Occupational Therapy International	作業療法学系国際学術誌の査読者役割		2020.7-8	
13	KL Leven	大学院生の国外副指導者		2020.4-2021.3	
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称	内容		年月	
1	該当なし				
(4) その他					
	項目	相手方等	内容	期間	
1	該当なし				
5. 学内運営					
	項目	内容		期間	
1	全学的委員会及びセンター業務等	入学試験のために任命された役割の遂行		2021.1	
2	全学的委員会及びセンター業務等	院試のために任命された役割の遂行		2021.1	
3	該当なし	他学科の採用に関する審査		2020.9	
4	該当なし	大学院教員評価に関する審査		2020.9	
5	国際交流活動	ZHAW Zurich University Applied Sciencesとの協業で 留学生の文化的自己効力感の報告書を作成した		2020.4-2021.1	
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）					
	受賞名	主催		受賞年月	
1	該当なし				
7. 特許の取得					
	特許名	特許番号		登録年月	
1	該当なし				
8. 特記事項					